

**横浜みどりアップ計画 平成27年度予算 関係資料**  
**( 環境創造局 平成27年度予算概要より抜粋 )**



＜みどり保全創造事業費会計予算案総括表＞

(歳出)

区 分	本年度	前年度	増△減	増減率
	千円	千円	千円	%
1 款 みどり保全創造事業費	11,067,929	10,137,535	930,394	9.2
1 項 みどり保全創造事業費	6,075,473	5,271,500	803,973	15.3
1 目 樹林地保全創造費	3,518,533	3,487,400	31,133	0.9
2 目 都市農地保全費	831,239	680,860	150,379	22.1
3 目 緑化推進創造費	1,725,701	1,103,240	622,461	56.4
2 項 みどり保全事業費	3,916,391	3,914,991	1,400	0.0
1 目 樹林地保全費	3,314,558	3,314,138	420	0.0
2 目 都市農業育成費	193,466	192,736	730	0.4
3 目 緑化推進費	390,567	390,317	250	0.1
4 目 広報推進費	17,800	17,800	0	0.0
3 項 基金積立金	3,000	3,000	0	0.0
1 目 みどり基金積立金	3,000	3,000	0	0.0
4 項 公債費	1,072,065	947,044	125,021	13.2
1 目 元金	812,526	697,455	115,071	16.5
2 目 利子	233,400	236,655	△ 3,255	△ 1.4
3 目 公債諸費	26,139	12,934	13,205	102.1
5 項 予備費	1,000	1,000	0	0
1 目 予備費	1,000	1,000	0	0
計	11,067,929	10,137,535	930,394	9.2

(歳入)

区 分	本年度	前年度	増△減	増減率
	千円	千円	千円	%
1 款 国庫支出金	2,268,003	2,196,456	71,547	3.3
2 款 財産収入	3,000	3,000	0	0.0
3 款 寄附金	1	8,001	△ 8,000	△ 100.0
4 款 繰入金	4,974,143	4,329,816	644,327	14.9
(うち一般会計繰入金)	(2,065,762)	(1,928,014)	(137,748)	7.1
(うちみどり基金繰入金)	(2,908,381)	(2,401,802)	(506,579)	21.1
5 款 諸収入	1,782	2,262	△ 480	△ 21.2
6 款 市債	3,821,000	3,598,000	223,000	6.2
計	11,067,929	10,137,535	930,394	9.2

## ■ 横浜みどりアップ計画(計画期間:平成26-30年度)の推進

平成27年度は、引き続き「横浜みどりアップ計画(計画期間:平成26-30年度)」に基づき、緑の保全はもとより、市民が実感できる緑の創出など、目標に向けた取組を、精力的に推進します。

### ■ 事業費一覧(公債費等を除く)

(単位:百万円)

取組の柱	施策	事業と取組	総額	みどり税充当事業		みどり税非充当事業
				事業費	(内みどり税)	事業費
取組の柱1 森を育てるとともに次世代につなぐ	樹林地の確実な保全の推進	①緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業	6,014	2,899	(624)	3,115
		・緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	6,014	2,899	(624)	3,115
	良好な森を育成する取組の推進	②生物多様性・安全性に配慮した森づくり事業	740	581	(581)	160
		・森づくりガイドライン等を活用した森の育成	483	324	(324)	159
		・指定された樹林地における維持管理の支援	108	108	(108)	-
		・生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上	141	141	(141)	-
		・間伐材の有効活用	9	8	(8)	1
	③森を育む人材の育成事業	・森づくりを担う人材の育成	8	8	(8)	-
		・森づくり活動団体への支援	6	6	(6)	-
		計	14	14	(14)	-
森と市民をつなげる取組の推進	④市民が森に関わるきっかけづくり事業	65	25	(25)	40	
	・森の楽しみづくり	19	19	(19)	-	
	・森に関する情報発信	46	6	(6)	40	
計			6,833	3,518	(1,243)	3,315
取組の柱2 場をつくる身近に農を感じる	農に親しむ取組の推進	①良好な農景観の保全事業	218	108	(108)	110
		・水田の保全	69	37	(37)	32
		・特定農業用施設保全契約の締結	1	-	-	1
		・農景観を良好に維持する取組の支援	115	38	(38)	77
		・多様な主体による農地の利用促進	33	33	(33)	-
	②農とふれあう場づくり事業	・様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	732	723	(111)	9
		・市民が農を楽しむ支援する取組の推進	14	-	-	14
		計	746	723	(111)	23
	地産地消の推進	③身近に感じる地産地消の推進事業	48	-	-	48
		・地産地消にふれる機会の拡大	48	-	-	48
④市民や企業と連携した地産地消の展開事業		13	-	-	13	
・地産地消を広げる人材の育成		5	-	-	5	
・市民や企業等との連携	7	-	-	7		
計			1,025	831	(218)	193
取組の柱3 緑をつくる実感できる	市民が実感できる緑を創出する取組の推進	①民有地での緑の創出事業	62	49	(49)	13
		・民有地における緑化の助成	28	26	(26)	2
		・名木古木の保存	22	19	(19)	3
		・人生記念樹の配布	12	4	(4)	8
		②公共施設・公有地での緑の創出事業	1,143	866	(586)	277
		・公共施設・公有地での緑の創出・管理	552	275	(275)	277
		・公有地化によるシンボリックな緑の創出	302	302	(22)	-
・いきいきとした街路樹づくり	289	289	(289)	-		

取組の柱	施策	事業と取組	総額	みどり税充当事業		みどり税非充当事業
				事業費	(内みどり税)	事業費
取組の柱 緑の柱 市民3 をつか 実感 できる	緑を楽しむ市民の盛り上げを醸成する取組の推進	③市民協働による緑のまちづくり事業	296	296	(296)	-
		・地域緑のまちづくり	296	296	(296)	-
		④子どもを育む空間での緑の創出事業	86	16	(16)	70
		・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出	86	16	(16)	70
		⑤緑や花による魅力・賑わいの創出事業	528	498	(498)	30
・都心臨海部の緑花による賑わいづくり	528	498	(498)	30		
計			2,116	1,726	(1,446)	391
展 効 広 報 開 果 報 の 的 な		①市民の理解を広げる広報の展開事業	18	-	-	18
		・計画の周知や実績報告	18	-	-	18
計			18	-	-	18
総計			9,992	6,075	(2,907)	3,916

※四捨五入の関係により、合計が一致しないことがあります。

## ■ 基金及び特別会計について

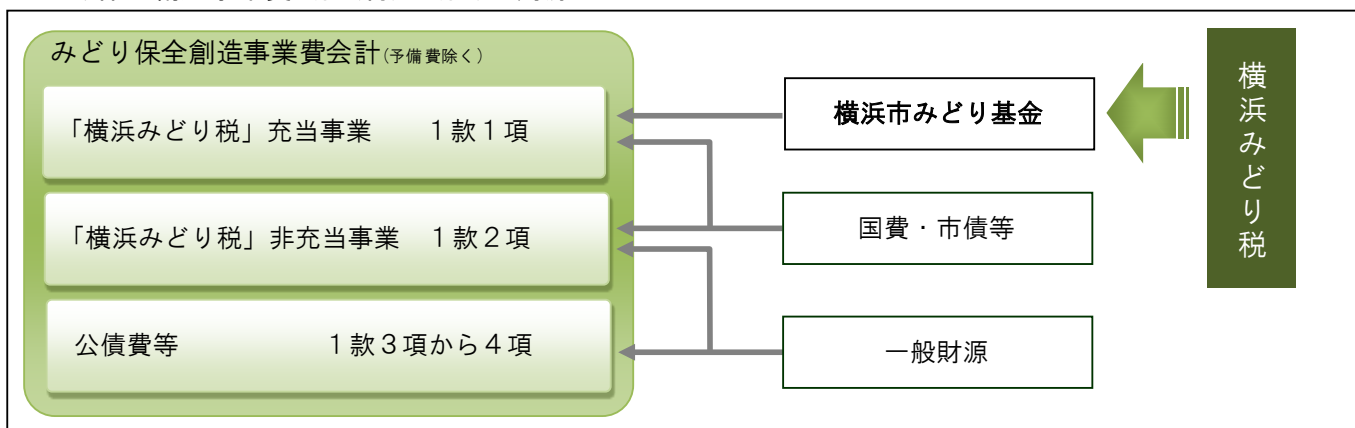
### 基金(横浜市みどり基金)

横浜みどり税は、市民税の超過課税の形でご負担をお願いするものですが、その税収の使いみちは横浜みどりアップ計画に限定されます。そこで、この税収を管理する基金を設置することにより、他の一般財源から明確に分離するとともに、年度間の財源調整も行います。

### 特別会計(みどり保全創造事業費会計)

横浜みどり税の用途を明確にするためには、横浜みどり税を充当して実施する事業のみならず、横浜みどりアップ計画全体について、その内容や進捗状況を他の施策と分離して明らかにしていく必要があります。そこで、横浜みどり税非充当事業(既存事業等)を含めた横浜みどりアップ計画全体を対象とする特別会計により、横浜みどり税の用途を明確にします。

## ■ みどり保全創造事業費会計(特別会計)の財源について



## ■ みどり税の用途

横浜みどり税の用途は、次の4項目に整理しています。

- ・樹林地・農地の確実な担保
- ・身近な緑化の推進
- ・維持管理の充実によるみどりの質の向上
- ・ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

## 事 業 内 容

(1)	樹林地保全創造費 (横浜みどり税 充当) 1款1項1目	
	本 年 度	千円 3,518,533
	前 年 度	3,487,400
	差 引	31,133
財 源 内 訳	国・県	986,313
	市 債	1,289,000
	その他	—
	基金繰入	1,243,220
	一般繰入	—

まとまりのある緑の空間は、都市の骨格をつくり、クールスポットであると同時に生物生息の場であり、洪水抑制や避難場所になるなど防災・減災にも役立ちます。さらには、樹林地や農地が一体となって横浜らしく美しい景観を形成している地域も存在します。

これらを次世代に引き継いでいくため、森のもつ多様な役割に配慮しながら、土地の所有者や地域住民など、市民・事業者とともにその保全や育成をより一層進めます。

緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り、市民の森等や都市公園内のまとまった樹林を対象とした保全管理計画に基づく森づくりの推進、緑地保全制度により指定された樹林地における維持管理の支援、森に関するイベントや講座の実施などを行います。

### 1 樹林地の確実な保全の推進 2,899,250 千円

#### (1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業 2,899,250 千円

市内に残る貴重な緑地について、緑地保全制度の地区指定を積極的に進めるとともに、特別緑地保全地区等の指定地で、土地所有者の不測の事態等による買入れ申し出に対応します。

横浜みどりアップ計画による地区指定の拡大に伴い、増加する買取りに対応します。

- ・新規指定面積：100ha（1款2項1目と合わせた面積）
- ・買取見込面積：10.8ha（1款2項1目：8.9ha、計19.7ha）
- ・保全した樹林地の整備

### 2 良好な森を育成する取組の推進 594,583 千円

#### (1) 生物多様性・安全性に配慮した森づくり事業 580,713 千円

##### ア 森づくりガイドライン等を活用した森の育成 324,323 千円

- ・市民の森、市有緑地及び都市公園内のまとまった樹林を対象に森づくりガイドライン等を活用し、生物多様性の保全や利用者などの安全確保のため、愛護会などと連携して森づくりを推進します。また、散策路などの施設の修繕や、維持管理に必要な施設の整備を行います。
- ・森ごとに具体的な管理の計画を定めた保全管理計画を策定し、愛護会等と連携して森づくりを推進します。

保全管理計画の策定：樹林地3か所、公園3か所

##### イ 指定された樹林地における維持管理の支援 107,800 千円

土地所有者の維持管理負担を軽減するため、緑地保全制度により指定した樹林地の外周部などで土地所有者が行う危険・支障樹木の除去等の維持管理への支援を行います。

- ・維持管理の支援：130件

**ウ 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上** 141,000 千円  
防災や安全面の対策が必要な緑地の法面を対象に、生物多様性にも配慮した法面整備を推進します。  
・法面の整備：2 か所

**エ 間伐材の有効活用** 7,590 千円  
チップターの貸し出しによりチップ化作業を支援するなど、間伐材の有効活用を推進します。  
あわせて計画的な樹林地の維持管理作業で生じた間伐材の活用方法も検討します。

**(2) 森を育む人材の育成事業** 13,870 千円

**ア 森づくりを担う人材の育成** 8,200 千円  
・森づくり活動に取り組む団体の基本的な知識と安全確保、活動のスキルアップ、リーダーの養成などにつながる研修を実施します。  
・森づくり活動に必要な動植物調査、作業技術などを学ぶ研修を開催するとともに、森づくり活動団体へ加入するための橋渡しを行います。また、ニュースレターやウェブサイトを活用し、森づくりに関する情報発信を行います。

**イ 森づくり活動団体への支援** 5,670 千円  
市民の森や、都市公園内のまとまった樹林で活動する団体を対象に、森づくり活動に対する助成や、必要な道具類の貸出し、専門家派遣による支援を行います。  
・市民の森等：10 団体  
・公園：10 団体

**3 森と市民とをつなげる取組の推進** 24,700 千円

**(1) 市民が森に関わるきっかけづくり事業** 24,700 千円

**ア 森の楽しみづくり** 19,100 千円  
・区民まつりなど各区での催しに合わせ、森に関わるきっかけとなるイベントや広報活動を展開します。特に、親子で参加できるイベントの充実などに取り組みます。  
イベントの実施及び広報活動：36 回  
・森を楽しむためのプログラムを自ら企画・運営できる人材育成のための講座などを開催します。

**イ 森に関する情報発信** 5,600 千円  
・市民の森・ふれあいの樹林のガイドマップを作成し、市民が気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりを推進します。

## 事 業 内 容

(2)	都市農地保全費 (横浜みどり税 充当) 1款1項2目	<p>都市に潤いをもたらす横浜の農景観を保全し、次世代に引き継いでいくことが求められています。また、市民農園で自ら農作物を栽培するなど「農とのふれあい」への市民ニーズが高まっています。</p> <p>そこで、景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での役割に着目した「良好な農景観の保全」や、「農とふれあう場づくり」を重点的に展開し、市民が身近に農を感じる場をつくります。</p>
本 年 度	千円 831,239	
前 年 度	680,860	
差 引	150,379	
財 源 内 訳	国・県	204,779
	市 債	408,000
	その他	—
	基金繰入	218,460
	一般繰入	—

- |  |            |
|--|------------|
| 1 農に親しむ取組の推進   | 831,239 千円 |
| (1) 良好な農景観の保全事業  | 107,950 千円 |
| ア 水田の保全  | 36,660 千円  |
| 土地所有者が水田を維持できるよう、水稻作付を 10 年間継続することを条件に奨励金を交付します。   |            |
| ・水田保全承認面積：121ha  |            |
| イ 農景観を良好に維持する取組の支援   | 38,100 千円  |
| ・農地周辺の不法投棄対策として、夜間警備パトロール等を実施します。  |            |
| ・牧草等の栽培を奨励し、農地からの土砂流出や土ぼこりの発生の防止を図ります。   |            |
| 牧草栽培奨励：4ha   |            |
| ・管理作業に必要な共同利用設備の整備を支援します。  |            |
| 剪定枝等堆肥化設備の整備：5 件   |            |
| ウ 多様な主体による農地の利用促進  | 33,190 千円  |
| 農地の長期間の貸し借りを促進することで、農地の保全につながるように、6 年間以上の貸借設定をした農地所有者に奨励金を交付します。また、遊休農地を一時的に市が借り受けて復元し、利用希望者への貸付を進めます。 |            |
| ・農地の長期貸付により保全されている農地：74ha  |            |
| ・遊休農地の復元：0.3ha   |            |
| ・復元した農地の耕作奨励：0.6ha   |            |



(2) 農とふれあう場づくり事業

723,289 千円

ア 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

723,289 千円

- ・野菜の収穫や果物のもぎとりなどを気軽に体験することができる収穫体験農園の開設に必要な施設整備を支援します。

収穫体験農園の開設支援：2.5ha

- ・土地所有者による維持管理が難しくなった農地等を、市が買い取るなどして、市民が農作業を楽しめる農園を主とした都市公園を整備します。

農園付公園の整備：1.4ha

なお、従来から実施している、農家から指導を受けることができる「栽培収穫体験ファーム（0.1ha）」や、児童が農家から野菜や米づくりを学ぶ「環境学習農園（0.1ha）」、また、利用者が自由に農作業を楽しめる「特区農園（1.0ha）」など、多様な市民農園の開設の支援については、1款2項2目の都市農業育成費（横浜みどり税非充当事業）で対応します。

## 事 業 内 容

(3)	緑化推進創造費 (横浜みどり税 充当) 1款1項3目		<p>都市の緑は、市民に潤いや安らぎをもたらすほか、街の良好な景観形成や賑わい創出、生き物の生息空間となるなどの重要な役割を果たし、都市の魅力を高めます。市民が、緑あふれる都市で暮らす豊かさを実感できるような取組を進めます。</p> <p>民有地においては、緑の少ない区における公開性や視認性の高い場所での緑化や生物多様性の向上に寄与する緑化を推進し、維持管理を支援することで「質の高い緑」を創出します。また、市民協働による地域の緑化や保育園・幼稚園（民間）など子どもを育む空間では、ニーズに合わせた多様な緑の創出を支援します。</p> <p>公共施設・公有地においても、多くの市民の目にふれる場所でシンボリックな緑の創出に取り組むほか、街路樹の良好な育成、緑や花による魅力・賑わいの創出などにより、実感できる質の高い緑を創出します。</p>
	本 年 度	千円 1,725,701	
	前 年 度	1,103,240	
	差 引	622,461	
財 源 内 訳	国・県	100,000	
	市 債	180,000	
	その他	—	
	基金繰入	1,445,701	
	一般繰入	—	

- |  |                   |
|--|-------------------|
| <b>1 市民が実感できる緑を創出する取組の推進</b>   | <b>914,960 千円</b> |
| <b>(1) 民有地での緑の創出事業</b>   | <b>48,960 千円</b>  |
| <b>ア 民有地における緑化の助成</b>  | <b>26,000 千円</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行う市民・事業者に対し、緑化費用の一部を助成します。なお、緑の少ない鶴見、神奈川、西、中、南区における公開性や視認性の高い場所での緑化や生物多様性の向上に寄与する緑化などの効果的な取組に対し、支援を充実させます。</li> <li>緑化の助成：11件（1款2項3目で2件、計13件）</li> <li>・ 緑の少ない鶴見、神奈川、西、中、南区における公開性や視認性のある緑化に対し、維持管理費の助成を行います。</li> </ul> |                   |
| <b>イ 名木古木の保存</b>   | <b>19,460 千円</b>  |
| <p>地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を保存すべき樹木として指定します。また、指定木の維持管理に必要な樹木の診断や治療及びせん定等の維持管理費用の一部を助成します。</p>   |                   |
| <b>ウ 人生記念樹の配布</b>  | <b>3,500 千円</b>   |
| <p>民有地緑化の普及・啓発を図るため、人生の節目（出生、保育園・幼稚園入園、小学校入学、成人、就職、結婚、金婚・銀婚、賀寿、新市民（市外からの転入）、住居の新築・購入・増改築）の記念に希望した市民に無料配布する苗木を購入します。</p>  |                   |
| <b>(2) 公共施設・公有地での緑の創出事業</b>  | <b>866,000 千円</b> |
| <b>ア 公共施設・公有地での緑の創出・管理</b>   | <b>275,000 千円</b> |
| <p>多くの市民が利用する地域の公共施設から率先し、市民が実感でき、生物多様性の向上や良好な景観形成につながる緑を創出します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑の創出：3か所（再整備を行う3区庁舎の緑化事業費）</li> </ul>   |                   |

**イ 公有地化によるシンボリックな緑の創出** 302,000 千円  
 緑の少ない鶴見、神奈川、西、中、南区などを対象に、多くの市民の目にふれる場所で、土地利用転換などの機会をとらえて用地を確保し、緑豊かな公園を整備します。  
 事業推進：1 か所

**ウ いきいきとした街路樹づくり** 289,000 千円  
 市民が目にする機会が多く、街並みの美観向上に寄与する街路樹を良好に育成するため、せん定などの維持管理を通常の維持管理に上乘せして実施します。特に、都心臨海部の街路樹や区の代表的な街路樹については、低木の刈込や除草などより充実した管理を進めます。

**2 緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進** 810,741 千円

**(1) 市民協働による緑のまちづくり事業** 296,251 千円

**ア 地域緑のまちづくり** 296,251 千円

地域が主体となり、住宅街や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民との協働で進めます。

ご近所同士や集合住宅の管理組合など、より地域主体で気軽に取り組めるよう、対象区域の規模を小さくし、計画づくりの自由度を高め、幅広く民有地の緑化を支援します。

また、26 年度までに地域緑化計画を策定した地区については、継続して整備への支援を行います。

地域緑化推進事業：28 地区（27 年度新規地区：6 地区、26 年度までに着手した地区：22 地区）

**(2) 子どもを育む空間での緑の創出事業** 16,000 千円

**ア 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出** 16,000 千円

民間の保育園、幼稚園、小中学校において、園庭・校庭の芝生化に加え、花壇づくり、屋上や壁面の緑化、ビオトープ整備など、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑の創出・育成を進めます。また、芝生等の維持管理に対する支援を行います。

- ・緑の創出（民間）：10 か所（1 款 2 項 3 目で公立保育園、小中学校 10 か所、計 20 か所）
- ・芝生等の維持管理に対する支援

**(3) 緑や花による魅力・賑わいの創出事業** 498,490 千円

**ア 都心臨海部の緑花による賑わいづくり** 498,490 千円

多くの市民が時間を過ごし、国内外から多くの観光客が訪れるエリアである都心臨海部において、来訪者の回遊性向上や生物多様性確保の観点から、エリア内での緑のネットワーク形成に寄与することも念頭に、公共施設を中心に緑や花による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開し、街の魅力形成・賑わいづくりにつなげます。

27 年度は、山下公園、港の見える丘公園、山手西洋館等の緑花整備などに取り組みます。

- ・緑花による魅力・賑わいづくり
- ・緑花の維持管理

## 事業内容

(4)	樹林地保全費 (横浜みどり税 非充当) 1款2項1目		
本年度	千円 3,314,558		まとまりのある緑の空間は、都市の骨格をつくり、クールスポットであると同時に生物生息の場であり、洪水抑制や避難場所になるなど防災・減災にも役立ちます。さらには、樹林地や農地が一体となって横浜らしく美しい景観を形成している地域も存在します。 これらを次世代に引き継いでいくため、森のもつ多様な役割に配慮しながら、土地の所有者や地域住民など、市民・事業者とともにその保全や育成をより一層進めます。 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り、市民の森等を対象とした保全管理計画に基づく森づくりの推進、ウェルカムセンターを活用した森に関する情報発信などを行います。
前年度	3,314,138		
差引	420		
財源内訳	国・県	976,911	
	市債	1,944,000	
	その他	22	
	基金繰入	-	
	一般繰入	393,625	

### 1 樹林地の確実な保全の推進 3,114,885千円

#### (1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業 3,114,885千円

市内に残る貴重な緑地について、緑地保全制度の地区指定を積極的に進めるとともに、特別緑地保全地区等の指定地で、土地所有者の不測の事態等による買入れ申し出に対応します。

- ・新規指定面積：100ha（1款1項1目と合わせた面積）
- ・買取見込面積：8.9ha（1款1項1目：10.8ha、計19.7ha）
- ・保全した樹林地の整備

### 2 良好な森を育成する取組の推進 159,673千円

#### (1) 生物多様性・安全性に配慮した森づくり事業 159,673千円

##### ア 森づくりガイドライン等を活用した森の育成 158,753千円

市民の森、市有緑地及び都市公園のまとまった樹林地を対象に森づくりガイドライン等を活用し、生物多様性の保全や利用者などの安全確保のため、愛護会などと連携して森づくりを推進します。また、維持管理に必要となる倉庫の整備や測量等を実施します。

##### イ 間伐材の有効活用 920千円

計画的な樹林地の維持管理により発生する間伐材の適正なチップ化作業を行うための研修等を通じ、間伐材の有効活用を推進します。

3 森と市民とをつなげる取組の推進	40,000 千円
(1) 市民が森に関わるきっかけづくり事業	40,000 千円
ア 森に関する情報発信	40,000 千円

市内にあるウェルカムセンター5館において、それぞれの展示施設を活用し、森を安全に散策するための情報や生き物情報など発信する「森の情報提供」、森を知り、楽しむための講座などを開催する「普及啓発・環境教育」を行います。

ウェルカムセンター5館

- ・自然観察センター（横浜自然観察の森）〈栄区〉
- ・にいほる里山交流センター（新治里山公園）〈緑区〉
- ・虹の家（舞岡ふるさと村）〈戸塚区〉
- ・四季の家（寺家ふるさと村）〈青葉区〉
- ・環境活動支援センター 交流スペース〈保土ヶ谷区〉

## 事 業 内 容

(5)

都市農業育成費

(横浜みどり税 非充当)

1 款 2 項 2 目

新鮮で安心な農産物の生産のほか、貯水・洪水防止、レクリエーションなど、多様な公益的な機能を持つ農地を将来にわたって保全するための取組を進めます。

また、身近な場所に農地がある横浜の特徴を生かして、新鮮な農産物を市民に直接販売するための施策とともに、地産地消を広げる人材の育成、市民や企業と連携など、これまでの地産地消の取組をさらに拡大させ、市民が身近に地産地消を感じる取組を条例<sup>(※)</sup>の趣旨に沿って進めます。

※ 横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例

本 年 度	千円	193,466
前 年 度		192,736
差 引		730
財源内訳	国・県	—
	市 債	—
	その他	1,761
	基金繰入	—
	一般繰入	191,705

1 農に親しむ取組の推進 132,648 千円

(1) 良好な農景観の保全事業 109,639 千円

ア 水田の保全 32,000 千円

良好な水田景観を保全するために必要な、井戸等の整備による水源の確保を支援します。

- ・水源の確保：2 か所

イ 特定農業用施設保全契約の締結 749 千円

農家が「所有農地等を 10 年間適正に管理すること」及び「農業生産に不可欠な農業用施設を 10 年間継続して利用すること」について、横浜市と契約を締結し、当該農業用施設の敷地として市長に指定された「農業用施設用地」の固定資産税・都市計画税を軽減し、農地の保全を図ります。

ウ 農景観を良好に維持する取組の支援 76,890 千円

道路側溝などの公益施設の清掃や、農地縁辺部への草花等の植栽など、まとまりのある農地を良好に保全する団体の取組を支援します。また、生物多様性に配慮した水路機能の維持や土砂流出の対策を支援します。

- ・良好に維持されている農地の面積：704ha
- ・生物多様性に配慮した水路機能の維持：1 地区
- ・土砂流出対策：4 地区

(2) 農とふれあう場づくり事業 23,009 千円

ア 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設 9,099 千円

農家から指導を受けることができる「栽培収穫体験ファーム」や、児童が農家から野菜や米づくりを学ぶ「環境学習農園」、また、利用者が自由に農作業を楽しめる「特区農園」など、多様な市民農園の開設を支援します。

・市民農園の開設支援：1.2ha

<内訳>栽培収穫体験ファーム：0.1ha、環境学習農園：0.1ha、特区農園：1.0ha

なお、市民の皆様が、野菜の収穫や果物のもぎとりなどを気軽に体験する「収穫体験農園（2.5ha）」や、農地の確実な担保につながる「農園付公園（1.4ha）」は、1款1項2目の都市農地保全費（横浜みどり税充当事業）で対応します。

イ 市民が農を楽しむ支援する取組の推進 13,910 千円

・横浜ふるさと村及び恵みの里において、農体験教室等の開催や農景観の保全等の取組を支援します。

農体験教室などの実施：100回

・農家と地域住民の協働により地域の農環境の保全を図る協定の締結に向け、ワークショップを開催します。

ワークショップの開催：2件

・都心部の方などを対象に、市内の生産現場や直売所などの流通の現場等を巡る農ある横浜・あぐりツアーを開催します。

農ある横浜・あぐりツアーの開催：4回

・市民農業大学講座や体験学習講座を開催し、市民が栽培技術などを学ぶ場を提供します。

市民農業大学講座の開催：「野菜・果樹コース」1年次20回、2年次10回  
：「花・緑コース」1年次20回

体験学習講座の開催：5回

2 地産地消の推進 60,818 千円

(1) 身近に感じる地産地消の推進事業 48,000 千円

ア 地産地消にふれる機会の拡大 48,000 千円

・直売所の開設や施設の拡充、地域に古くから伝わる農畜産物加工品などをつくる施設の整備などの相談に市が応じ、それらの開設や運営の支援を行います。また、イベント的な要素が高く市民が楽しみながら農畜産物を購入できる青空市の運営を支援します。

直売所等の支援：10件、青空市運営支援：5件

・市内の植木農家や花き農家が生産した苗木や花苗を、市民への配布や公共施設、農地の縁辺部への植栽に活用し、市民が市内産植木や草花に親しめる機会を創出するとともに、「食」だけではない横浜の農の取組をPRします。

緑化用植物の生産・配布：24,500本

・情報誌やパンフレットなどの制作・発行や、ウェブサイトなどを活用したPRをさらに充実します。また、地産地消キャンペーンや市内産農畜産物を活用したイベントの実施や、身近に農を感じる機会が少ない都心部の方を対象とした情報の発信など、市民が地産地消の情報を得られる機会の拡大を図ります。

**(2) 市民や企業と連携した地産地消の展開事業**

12,818 千円

**ア 地産地消を広げる人材の育成**

5,341 千円

・地産地消を広げるはまふうどコンシェルジュの育成講座を開催します。また、コンシェルジュが活動する場や内容を広げるためのフォローアップ研修会の開催や、活動に対する助成により、コンシェルジュの活動を支援します。

はまふうどコンシェルジュ活動支援：20 件

・直売所における農畜産物の販売方法や PR 方法などを充実させるとともに、直売を行う生産者を対象に、技術研修や先進的な直売所への視察会を開催します。

・サポート店による地産地消の取組や、店舗・生産者・はまふうどコンシェルジュなどをつなぐネットワークを拡充し、市民の利用を促進するための研修や交流会を実施します。

・地産地消の取組の発表や講演、横浜の農畜産物を利用したメニューや加工品などの試食・販売会などを行う事業者向けのフォーラムを、市民・企業と連携して開催します。

フォーラムの開催：1 回

**イ 市民や企業等との連携**

7,477 千円

・生産者と企業等を結ぶ仕組をつくとともに、相談窓口を設置し、地産地消を広げる「農と企業等との連携」のマッチングを行います。

企業等との連携の推進：5 件

・市内の中小企業等を対象に、地産地消に関するビジネスを創出するための費用の助成や、相談に応じるなどの支援を行うとともに、新規事業者の発掘・育成を目的とした講座を開催します。

・小学校の給食メニューにおける市内産農畜産物の利用促進や食育の推進を図るため、企業などと連携した小学生による料理コンクールの開催や、「食」と「農」に関わるパンフレットの全校配布などを行います。



## 事業内容

(6)	緑化推進費 (横浜みどり税 非充当) 1款2項3目	<p>都市の緑は、市民に潤いや安らぎをもたらすほか、街の良好な景観形成や賑わい創出、生き物の生息空間となるなどの重要な役割を果たし、都市の魅力を高めます。市民が、緑あふれる都市で暮らす豊かさを実感できるような取組を進めます。</p> <p>民有地において、緑化を積極的に支援するとともに、公共施設・公有地においても、多くの市民が利用する公共施設から率先して、質の高い緑を創出します。また、保育園・小中学校（公立）など子どもを育む空間においても、ニーズに合わせた多様な緑を創出します。</p>
本年度	千円 390,567	
前年度	390,317	
差引	250	
財源内訳	国・県	—
	市債	—
	その他	—
	基金繰入	—
	一般繰入	390,567

- |   |            |
|---|------------|
| 1 市民が実感できる緑を創出する取組の推進   | 290,467 千円 |
| (1) 民有地での緑の創出事業   | 13,152 千円  |
| ア 民有地における緑化の助成  | 2,000 千円   |
| 緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行う市民・事業者に対し、緑化費用の一部を助成します。<br>・緑化の助成：2件（1款1項3目で11件、計13件）                                     |            |
| イ 名木古木の保存   | 2,882 千円   |
| 地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を保存すべき樹木として指定します。また、指定木の維持管理に必要な樹木の診断や治療及びせん定等の維持管理費用の一部を助成します。                               |            |
| ウ 人生記念樹の配布  | 8,270 千円   |
| 民有地緑化の普及・啓発を図るため、人生の節目（出生、保育園・幼稚園入園、小学校入学、成人、就職、結婚、金婚・銀婚、賀寿、新市民（市外からの転入）、住居の新築・購入・増改築）の記念に希望した市民に苗木を無料配布します。<br>・苗木の配布：8,000本 |            |
| (2) 公共施設・公有地での緑の創出事業  | 277,315 千円 |
| ア 公共施設・公有地での緑の創出・管理   | 277,315 千円 |
| 多くの市民が利用する地域の公共施設から率先し、市民が実感でき、生物多様性の向上や良好な景観形成につながる緑を創出します。<br>・緑の創出：13か所<br>・創出した緑の維持管理                                     |            |

2 緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進	100,100 千円
(1) 子どもを育む空間での緑の創出事業	70,100 千円
ア 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出	70,100 千円
<p>公立の保育園、小中学校において、園庭・校庭の芝生化に加え、花壇づくり、屋上や壁面の緑化、ビオトープ整備など、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑の創出・育成を進めます。また、芝生等の維持管理に対する支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑の創出（公立）：10 か所（1 款 1 項 3 目で民間保育園、幼稚園、小中学校 10 か所、計 20 か所）</li> <li>・芝生等の維持管理に対する支援</li> </ul>	
(2) 緑や花による魅力・賑わいの創出事業	30,000 千円
ア 都心臨海部の緑花による賑わいづくり	30,000 千円
<p>多くの市民が時間を過ごし、国内外から多くの観光客が訪れるエリアである都心臨海部において、来訪者の回遊性向上や生物多様性確保の観点から、エリア内での緑のネットワーク形成に寄与することも念頭に、公共施設を中心に緑や花による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開し、街の魅力形成・賑わいづくりにつなげます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑花の維持管理</li> </ul>	

## 事 業 内 容

(7)	広報推進費 (横浜みどり税 非充当) 1款2項4目	<p>市民の皆様には横浜みどりアップ計画と横浜みどり税、計画の取組内容及び実績を知っていただき、理解を深めていただけるよう積極的な広報を展開します。また、緑に関する活動に参加するきっかけとなる機会を提供し、その効果を実感していただけるよう取り組みます。</p> <p>このために、広報誌や交通広告など様々な媒体・手法を用いて、取組内容や実績をお知らせします。また、緑を守り、つくり、育む取組に参加していただけるよう、イベント等の広報にも取り組みます。</p>
本 年 度	千円 17,800	
前 年 度	17,800	
差 引	0	
財 源 内 訳	国・県	—
	市 債	—
	その他	—
	基金繰入	—
	一般繰入	17,800

### 1 市民の理解を広げる広報の展開事業

17,800 千円

横浜みどりアップ計画の取組と横浜みどり税について、各種メディア等を活用した広報を積極的に行います。

- ・ 広報よこはま特集ページ
- ・ 実績概要の作成、公共施設等への配架
- ・ 電車やバスなど交通広告
- ・ ラジオ・テレビなど各種メディアを活用した広報
- ・ 事業実施箇所での表示
- ・ イベントへの出展、広報
- ・ マスコットキャラクターを活用した広報
- ・ 市民認知度の調査

(8)	みどり基金積立金 1款3項1目		<u>事業内容</u>	
本年度		千円 3,000	<b>1 みどり基金積立金</b> <span style="float: right;">3,000千円</span> 横浜市みどり基金の運用から生ずる収益を基金に積み立てます。	
前年度		3,000		
差引		—		
財源内訳	国・県			—
	市債			—
	その他		3,000	
	基金繰入		—	
	一般繰入		—	
(9)	元金 1款4項1目		<u>事業内容</u>	
本年度		千円 812,526	<b>1 市債金会計繰出金</b> <span style="float: right;">812,526千円</span> みどり保全創造事業のために発行した市債の元金を市債金会計に繰り出します。	
前年度		697,455		
差引		115,071		
財源内訳	国・県			—
	市債			—
	その他		—	
	基金繰入		—	
	一般繰入		812,526	
(10)	利子 1款4項2目		<u>事業内容</u>	
本年度		千円 233,400	<b>1 市債金会計繰出金</b> <span style="float: right;">233,400千円</span> みどり保全創造事業のために発行した市債の利子を市債金会計に繰り出します。	
前年度		236,655		
差引		△3,255		
財源内訳	国・県			—
	市債			—
	その他		—	
	基金繰入		—	
	一般繰入		233,400	

(11)	公債諸費 1款4項3目		<u>事業内容</u>	
本年度		千円 26,139	1 市債金会計繰出金	26,139 千円
前年度		12,934	みどり保全創造事業のために発行した市債の発行手数料等を市債金会計に繰り出します。	
差引		13,205		
財源内訳	国・県			—
	市債			—
	その他			—
	基金繰入			—
	一般繰入		26,139	
(12)	予備費 1款5項1目		<u>事業内容</u>	
本年度		千円 1,000	1 予備費	1,000 千円
前年度		1,000	みどり保全創造事業費会計の予備費を計上します。	
差引		—		
財源内訳	国・県			—
	市債			—
	その他			—
	基金繰入		1,000	
	一般繰入		—	